



宮崎県 株式会社ネイバーフッド 『温州みかんを台湾、東南アジアなどへ』

【主な品目】

温州みかん

【主な輸出先国・地域】

台湾、香港、シンガポール、マレーシア、マカオ

【輸出取組の概要】

- ◆ 令和元年 株式会社ネイバーフッド設立。
- ◆ 令和2年 台湾の大手青果物輸入業者と組んで本格的に温州みかんを輸出開始。
- ◆ 栽培期間中、農薬・除草剤・化学肥料の使用を減らした特別栽培方法により栽培。

【輸出実績】（平成2年度より輸出開始）

	輸出額(万円)	輸出量(t)	出荷時期
令和5年度	3,000	70	10～1月
令和4年度	2,200	55	
令和3年度	3,000	86	

【効果があった取組】

- ・現地（台湾）の大手青果輸入業者との連携（ファミリー層まで需要が増加）
- ・東南アジアで日本食スーパーを展開する日本企業と商談（香港、シンガポール、マレーシア、マカオまで輸出先が拡大）

【取り組む際に生じた課題及び輸出後に抱えた課題】

- 1 輸送時の荷崩れ問題。
- 2 輸送時の果実の損傷（腐敗）。

【生じた課題への対応】

- 1 箱のサイズ変更（10kg箱→8kg箱）、積荷の角にあて木、積み方の工夫（（8箱×8段）+上6箱＝70箱）により荷崩れ防止。
- 2 除菌用紫外線装置を導入するとともに、オゾン発生機能付き冷蔵庫を設置して果実の損傷（腐敗）防止。

【対応の結果】

- 1 輸送時での荷崩れが減少。
- 2 輸送時の果実の腐敗が大幅に減少。

【今後の課題・展望】

- 1 輸出先をタイ、インドまで拡大。
- 2 自社農園の面積拡大とともに、契約農家（県内外）数を増加。
- 3 契約農家に対して輸出に向けた栽培技術指導。
- 4 国内で販売している「まる搾りみかんジュース」の輸出。

【活用した支援・施策】令和3～5年度GFPグローバル産地づくり推進事業

【ウェブサイト】 <http://neighborhd.jp/>

【連絡先】 担当者名：代表取締役 田中 伸佳、TEL：0985-82-6899



自社のみかん農園



除菌用の紫外線装置



輸出用のみかん



GFP輸出セミナーオンライン講習会